

# 「地域の資金循環とそれを担う組織・若手支援者を生み出す人材育成事業」内定団体一覧

一般社団法人 全国コミュニティ財団協会  
2022/8/5

一般社団法人 全国コミュニティ財団協会が実施する、休眠預金等活用に基づく「地域の資金循環とそれを担う組織・若手支援者を生み出す人材育成事業」の内定団体の名称、申請事業の名称及び概要、選定過程、選定理由、助成総額とその算定根拠を公募要領 p.24「審査結果の通知と公開」に基づき、公開いたします。

(全4団体・順不同)

※助成金内訳は、実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。

No.	団体名	事業実施地域	申請事業名	助成額	総事業費			
					管理的経費	直接事業費	評価関連経費	
1	特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンター(コンソーシアム:「力あわせる」ぐんま未来ファンド)	群馬県	コミュニティファンドによる地域の資金循環と若手支援者を生み出す人材育成事業	¥23,100,000	¥24,871,900	¥2,339,800	¥21,432,100	¥1,100,000
申請事業概要				採択のポイント				
県内にどのような資金循環の仕組みが必要かを多様なステークホルダーへのヒアリング等から見極める。助成のための寄付集めを開始するとともに、案件形成助成とその団体への伴走支援を行う。伴走支援やファンドレイジング能力があるプログラムオフィサーを育成する。ボランティアマッチングシステム、既存財団、官民共創スペース、企業、地域金融機関との連携・協働によりエコシステムを生み出す。助成実績を積み重ねながら、助成財団設立を目指す。				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 群馬県内の中間支援組織・人材を中核としたコンソーシアム体制が構築されており、多様なネットワークを有していること、事業の実行可能性や専門性について高く評価されました。</li> <li>● 特に群馬県という従来から外国人の定住が進んできた地域だからこそその課題設定がされており、コミュニティ財団が設立されることでその課題解決のあり方の変容に期待します。</li> <li>● ただし、中間支援組織・人材だけで事業を進めることは権力や権威性を高めてしまうことや、視野・視座の固定化を招くことについての指摘もありました。市民性と運動性を持って、多様なステークホルダーとの連携・参画の余地をつくり、開かれたコミュニティ財団の設立・運営を期待しています。</li> </ul>				
2	特定非営利活動法人わがこと	香川県	高松から未来を創り支える コミュニティ財団設立に向けて	¥23,050,000	¥28,819,920	¥790,000	¥26,979,920	¥1,050,000
申請事業概要				採択のポイント				
当法人が旗揚げ役となり、高松市に資金仲介を通じた伴走支援が可能な仕組みと組織を作る。そのために、まずは市民や多様な組織を対象に、テーマを設けたフォーラムを繰り返し開催し、資金仲介組織の必要性について意識の醸成をする。その過程を効果的に発信しながら、コミュニティ財団(仮)の設立機運を高め、寄付を募り、助成プログラムを提供する。特に、まずは子どもや若者の体験や育ちの場を支援する団体や活動を重点的に後押しすることで、「子どもや若者にとって魅力あるまちの未来を創り育てる」という理念を多くの市民と共有できるようにする。				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 香川県内において従来から存在していたソーシャルセクター支援の基盤の脆弱性という課題に対して、構築されつつあるプレイヤー人材の育成・コミュニティ化を基盤とした上での「コミュニティ財団設立」という新たな挑戦として高く評価されました。</li> <li>● 一方で、香川県全域を活動エリアとした時の課題設定や出口戦略が具体的に描けていない点について指摘がありました。また、助成・支援するだけでなく、資金調達も含めて戦略性を持ってどのように取り組んでいくのか実現性も含めて組織内外との対話によって作り上げていくことを期待します。</li> <li>● 将来的に独立した財団を設立するにあたっては、どのような役員構成で担っていくのか、地域の重要なステークホルダーにきちんと関わりを持ってもらえるように、運動性や共感をつなぐような事業を展開していく点についても対応していくことを期待しています。</li> </ul>				
3	合同会社ドラマチック	高知県幡多地域(宿毛市、四万十市、土佐清水市、三原村、大月町、黒潮町)	はじまるよ！地域課題を「お金の地産地消」と「みんなで応援団」で解決していく、幡多(はた)のHATA(旗)プロジェクト！	¥23,080,000	¥28,595,000	¥3,144,000	¥24,371,000	¥1,080,000
申請事業概要				採択のポイント				
少子高齢化、人口減少、若年層の転出増加、企業の売上減少、空家問題など高知県の西のはじっこ「幡多(はた)地域」では課題が山積み。だけど「新型コロナを契機に助け合いコミュニティが盛り上がりつつあり」「楽しそうにボランティア活動する人たちがいたり、良い傾向も。・・・もしかしてみんな「熱中できるナニカ」を待っていない？！はじまるよ！地域課題を「お金の地産地消」と「みんなで応援団」で解決していく、幡多のHATA(旗)プロジェクト！				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過疎地域における新たな挑戦として、まちづくり会社がコミュニティ財団を設立することでの波及性や先進性に対する期待が高く評価されました。</li> <li>● 一方で、地域の課題の捉え方については抽象度が高く、手の届くところにある顕在化した課題だけでなく、周縁部にある潜在的な課題群に対して目を向けていくこと、声を聴き取っていくことの必要性について指摘がありました。</li> <li>● 3年間の中で、財団運営に中核的に携わる若手人材の育成を図りつつ、コミュニティ財団が地域にあることの意義や必要性を組織内外の人たちと合意形成し、過疎地域だからこそ、事業会社が行うからこそ財団モデルの形成に期待しています。</li> </ul>				
4	北陸みらい基金準備委員会	石川県	当事者のエンパワメントとコレクティブインパクトで作る課題解決モデル事業	¥23,100,000	¥50,660,200	¥44,915,000	¥4,645,200	¥1,100,000
申請事業概要				採択のポイント				
統計上生活が豊かとされ、保守的な石川県では当事者が声をあげにくく、課題も可視化されにくい。従来の支援する側される側という枠組みを超えて、当事者自らが課題を関係者と共有し、解決のしくみづくりに参加することでエンパワメントされ、同時に課題解決のしくみも社会状況に合わせて改善されていく循環を創出する。当事者が当事者を支援するpeer to peerのしくみ、当事者がまちづくりや制度設計に参加し、ユニバーサルなまちづくりや観光に貢献するなど当事者のエンパワメントから社会経済的価値を生むモデル事業創出を関係者が未来のありたい姿を共有しながら協働するコレクティブインパクトを目指す。				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 石川県内のSDGs未来都市のネットワークを活かし、当事者をエンパワメントしながら、「誰一人取り残さない」コレクティブインパクト型の地域課題解決事業を推進する取り組みとして高く評価されました。</li> <li>● 一方、市民性と運動性の観点からは、特定のステークホルダーに偏らない関係性の構築や多様な市民が参加できる開かれた組織づくりについての懸念が指摘されており、包摂性と参画性のある運営を期待します。</li> <li>● また、事業プロセスにおいて、財団運営に中核的に携わる若手人材の育成を図りつつ、コミュニティ財団が地域にあることの意義や必要性を組織内外の人たちと合意形成し、地域に根ざした持続可能な財団運営ができるようになることを期待しています。</li> </ul>				